

「コミュニケーション型共同研究」ここがポイント

コミュニケーション型共同研究では阪神高速グループのニーズ(大規模修繕・更新、長寿命化、減災、安全対策、ICT、IoT、AIビッグデータ、ITS、異分野・業種融合等)について、皆さまがお持ちの幅広いシーズ(技術・材料・工法)を募集しています。従来の新技術募集や技術開発では解決することが出来なかった課題に対して、相互にコミュニケーションをとりながら新たな価値を創造しませんか。応募していただいたシーズと阪神高速グループのニーズのマッチングを模索し、試験施工や共同研究による技術開発に結びつけたいと考えています。



ポイント 1 一方通行になりがちであった共同研究のテーマをコミュニケーションによって、相互の意見をふまえて技術開発を行うことができます。

ポイント 2 何に使っていいかわからない技術、使う方法が思いつかない技術について、阪神高速グループと一緒に考えることができます。

ポイント 3 共同研究によって開発した技術を、阪神高速のフィールドで試験施工することができ、実用的な研究開発ができます。

※業務や工事の受注時に、該当する技術の共同研究成果を有していることで加点される場合があります。

FAQ

Q1. 阪神高速の具体的なニーズはありますか? A1. コミュニケーション型共同研究では阪神高速の具体的なニーズは提示せず、貴社がお持ちのシーズをご応募していただいた後のコミュニケーションで阪神高速のニーズとのマッチングをはかる方式です。阪神高速のビジョンなどニーズの参考となる資料は下記のリンクからご参照ください。

Q2. 共同研究にかかる費用の負担はどうなりますか? A2. 基本的には御社と弊社の折半です。共同研究によって創出される特許等の知財の比率と比例した費用負担となります。ただし、知財等を得ない部分に関する費用負担については応相談です。契約書締結前に協議させていただきます。

Q3. 共同研究への提案内容が試験施工のみとなる場合でも公募相談会への応募は可能でしょうか? A3. コミュニケーション型共同研究では、シーズとニーズの融合により新たな価値を創り出しながら、研究開発することを目指しています。従って、研究開発済の既存技術や、試験施工のみの応募は控えてください。

コミュニケーション型共同研究の流れ

公募相談会 (年2回程度)

応募者のシーズ技術を弊社担当者にご紹介を頂く場です。

公募相談会にご応募

公募相談会の開催

公募相談会后、コミュニケーションを継続させていただき技術を、当グループのニーズと照らし合わせて選別させていただきます。

コミュニケーション

選別させていただいた技術について、当グループの担当者とコミュニケーションを行い、共同研究の可能性・内容を模索します。

企画書のご提出

専門部会(学識を含んだ第三者委員会)の開催

協定締結

当グループと、共同研究に関わる契約締結を行います。

共同研究申請書のご提出

協定書作成、締結

共同研究実施計画書の提出

共同研究の開始

※応募していただいた技術の内容により、阪神高速道路(株)だけではなく、当社グループ会社及び(一財)阪神高速先進技術研究所との共同研究になる可能性があります。